（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	定住・移住を目指す「大野川区の山とともにある暮らし」魅力再発見・移住体験事業
事業主体 （連絡先）	のりくら高原ミライズ構想協議会 （090-8002-6887）
事業区分	（８）その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,966,838　円（うち支援金：　1,542,000　円）

事 業 内 容

・親子で大野川区の魅力を再発見

特徴ある大野川小中学校の学習や地域活動を活かし、四季をめぐるガイドウォークや伝統食に触れるイベントを開催する。（アンケート評価は 5 段階中 4 以上：目標値 5 段階中 4 以上）

・親子で大野川区の山とともにある暮らしを体験

・移住希望者への情報発信の手段として、ウェブメディアとパンフレットを作成

・都内、オンライン、現地での移住相談会の開催（相談会の参加者のうち移住体験を行った割合は約 62%、現地見学会参加者は 100%の移住体験実施率：目標値 70%）

移住世帯数の増加。また、令和 6 年の移住者は、1 世帯であった。（目標値：2 世帯）

【移住希望者向けの現地見学会の様子】

【目標・ねらい】

① 地域住民が協働できる場づくり
② 住民の愛着や誇りを高める
③ 次世代に地域の魅力を伝える

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・親子で大野川区の魅力を再発見

地域の魅力が再発見されるとともに、住民の生活にポジティブな影響を与えたことが確認された。

・親子で大野川区の山とともにある暮らしを体験

イベントおよび移住相談会の参加者のうち、移住体験を行った割合は約 6 割、また令和 5 年・6 年度は、移住者 3 組となった。今後の移住希望者の増加が期待される。

・誰でも集える月一交流会

地域コミュニティに入りやすいと意見があったため、継続する価値があると考える。

※自己評価【A】

【理由】
多岐に渡る地域内外に向けた取り組みにより、定住者の満足度や移住者が着実に増えているため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・今後も大野川区の人口減少を防ぐため、地域の魅力発見事業を学校等と連携し継続。
・次世代を担う子どもたちが「この地域で暮らしたい」と思える地域づくりを推進。
・本事業で実施したように、移住のハードルを段階的に設定し、移住プロセスを支援。
・ハード（住まい・インフラ）とソフト（交流・サポート）両面で移住者の受け入れを強化。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある